

# 節水シャワーヘッド

シャワーヘッドは、その部分だけを取り替えることができ、衛星器具メーカーでは、いろいろなタイプの節水シャワーヘッドを発売しています。でも、機能にはかなりの違いがあるようです。

シャワーヘッドによる節水の多くは、ノズルの穴の数を少なくして小さくしたりして、節水するのが主流のようです。これだと、水の勢いが弱くなって、シャンプーした後のすすぎが十分にできず、結局のところ長い時間すすぐので、節水になりません。

購入するときは、単に「節水タイプです。」というふれ込みを鵜のみにせず、どのような仕組みでどれくらい節水できるのかを尋ね、水の勢いを保ったまま、節水できるタイプであることを確認してください。

シャワーはお湯が出ますから、節水は灯油やガス代、電気代の節約にもなります。使用感が落ちない節水シャワーヘッドは、8,000円～10,000円くらいしますが、水道料金・燃料代の節約で、ほどなくもとがとれるでしょう。

ふだんの節水には、節水コマに替えたり、洗面台の下に付いている止水栓を絞ったりすることで、節水がはかれます。役場や学校でも、この止水栓を絞って節水しています。遊樂里の浴室には、節水タイプのシャワーヘッドが設置されています。